

令和5年度 第1回地域福祉計画策定委員会 会議経過要旨

会議名	第1回木津川市地域福祉計画策定委員会
日時	12月25日(月) 15:30~16:45
場所	木津川市役所5階全員協議会室
出席者	<p>■安藤委員 ■石塚委員 □行衛委員 ■福井委員 □吉田委員</p> <p>■：出席 ■兎本委員 ■炭本委員 ■喜多委員 □中西委員 ■木本委員</p> <p>□：欠席 ■藤本委員 ■大塚委員 ■遠藤委員 ■岡田委員 □須河委員</p> <p>■馬委員 ■林委員 ■田中委員 ■井上委員 ■坂田委員</p> <p>■北川委員 ■中澤委員 ■柘植委員 ■山本委員</p> <p>事務局：(健康福祉部) 平野次長、小西課長補佐、山本主任 (社会福祉協議会) 松田課長、関係長</p>
傍聴者	0名
議題	<p>1 開会あいさつ</p> <p>2 出席者紹介</p> <p>3 委員長・副委員長選出</p> <p>4. 議 事</p> <p>(1) 今後のスケジュールについて 資料1</p> <p>(2) 第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画について 資料2</p> <p>(3) 市民意識実態調査アンケートについて 資料3 資料4 資料5</p> <p>(4) その他</p>
審議結果 要 旨	<p>1 開会あいさつ</p> <p>木津川市長が開会あいさつを行いました。</p> <p>2 出席者紹介</p> <p>出席委員、事務局職員、委託事業者がそれぞれ自己紹介を行いました。</p> <p>3 委員長・副委員長選出</p> <p>安藤委員が委員長に、石塚委員が副委員長に選出されました。</p> <p>4. 議 事</p> <p>(1) 今後のスケジュールについて</p> <p>(2) 第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画について</p> <p>(3) 市民意識実態調査アンケートについて</p> <p>(4) その他</p> <p>○市民意識実態調査アンケートについては、今回の策定委員会の意見をもとにアンケートの案を修正し、事前に委員に確認をしたうえで、市民に配布を行う。 (修正又は追加項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引きこもりに関する設問の設定有無、設問の内容について ・引きこもり等、困っている人に向けた支援機関の情報の記載有無について

	<p>・住まいと福祉を関連付けた設問の設定有無、設問の内容について</p> <p>○団体アンケートについては、修正意見等がなかったため、このままアンケート調査を実施する。</p> <p>○アンケート結果及び地域懇談会の結果等については、次回の策定委員会で報告させていただく。</p>
<p>審議経過 要 旨</p>	<p>1 開会あいさつ 審議結果要旨のとおり</p> <p>2 出席者紹介 審議結果要旨のとおり</p> <p>3 委員長・副委員長選出 審議結果要旨のとおり</p> <p>4. 議 事</p> <p>(1) 今後のスケジュールについて</p> <p>資料1を参照しながら、事務局から策定委員会の今後のスケジュールと審議していただきたい内容等について説明。</p> <p>(主な質疑)</p> <p>委員：地域懇談会を開催するとのことであるが、内容はこういったことを想定されているか。</p> <p>事務局：木津川市を4圏域（木津東、木津西、加茂、山城）に分け、市民の方々に集まっていただき、地域の実情や要望をお聞きして意見を集めたいと考えている。また、地域懇談会とは別に、地域福祉団体やボランティア団体の方にもお集まりいただき、話を聞く予定である。その結果については、計画にも反映する。期間は来年4月～6月を想定している。</p> <p>(2) 第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画について</p> <p>資料2に基づき、事務局から第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画の概要等について説明。</p> <p>(主な質疑)</p> <p>委員：資料2について、「地域福祉計画」の位置づけの説明があったかと思う。「成年後見制度利用促進基本計画」については、市町村では策定の努力義務になったかと思うが、次期計画では、どのような位置づけを考えているか。</p> <p>事務局：「成年後見制度」に限らず、「重層的支援体制の整備」や「再犯防止計画」も同じであるが、アンケートをとり、結果として市民ニーズがあるのであれば、地域福祉計画の中で掲載しようと考えている。成年後見制度については、個別の計画ではなく、「地域福祉計画」の</p>

中で位置づけることを考えている。

委員：「地域福祉計画」の中で、「成年後見制度利用促進基本計画」を位置づけることも可能であるが、府内では京丹後市が別個に「成年後見制度利用促進基本計画」を策定していたように思う。

委員：主観的な評価でもよいのだが、「第3次地域福祉計画」の進捗状況はどのように感じているか。事務局として、進み具合はどのように思うか。また、木津川市らしい特色はあるか。

事務局：来年になるが、各課が行っている福祉の施策について、進捗状況や目標値の達成状況を確認する予定である。進捗状況の感触となると、評価が難しい点もあるが、「概ね順調」と考えている。また、計画の策定に当たり、4圏域ごとに地域懇談会を実施する。そこで課題を出して、計画に反映することで木津川市らしい計画になると考えている。

委員：「第3次地域福祉計画」策定の際のポイントは、どのようなものだったのか。

事務局：「第3次地域福祉計画」についても地域懇談会を開催し、意見を聞きながら策定をした。「主な取り組み」の中で、「市民はどうしていくか」といったように「市民のやること」を記載している点も、木津川市らしいと考えている。

(3) 市民意識実態調査アンケートについて

資料3及び資料4を参照しながら、事務局から市民意識実態調査アンケートの内容について説明。

続いて、資料5を基に社会福祉協議会から地域福祉関連団体に意識調査アンケートについて説明。

(主な質疑)

委員：アンケートの回答方法で、QRコードから読み込む方式をとっているが、以前の社会福祉協議会のアンケートで、グーグルフォームが作動しないというケースがあった。定期的に作動のチェックをした方が良いのではないか。

事務局：グーグルフォームを使う際は、気を付けたいと思う。

委員：今、大きな問題として、「引きこもり」が挙げられる。引きこもりは、全国で140万人いると言われているが、アンケートの質問事項を見ると、引きこもりに関する質問がないように思う。引きこもりに関する設問を設定し、計画に反映するのはいかがか。例えば、「家族をサポートする窓口を知っているか」などの設問も考えられる。私が知っている範囲では、京都府の家庭支援課の委託事業である脱ひき

こもり支援センター「チーム絆」がある。このような機関の認知度を聞くことも考えられる。問 22 で「木津川市成年後見支援センター」の認知状況を確認しており、「チーム絆」のケースとは異なる部分もあると思うが、問いかけがあっても良いのではないか。

事務局：「引きこもり」については、問 6 の①で確認しており、社会からの孤立についての調査も行っているが、支援機関の認知状況は聞いていなかった。設問に含めるか検討をしたい。

委員：相談先を知らない人も想定されるので、問い合わせ先や、支援先につながる QR コードを入れたら、今生活に困っていて、必要な人にも届くのではないか。

事務局：この件についても、検討したいと思います。

委員：問 6 にも関連する件で、最近、全国的に問題になっているのが「住まいの確保」である。特に、高齢者や障がいのある方は、住まいを契約する際に断られてしまうケースや、トラブルに巻き込まれることがあるため、「住まい」の問題を地域福祉に位置付ける動きがある。可能であれば、問 6 に「住まい」の設問を検討していただきたい。

事務局：設問について、検討したいと思う。

事務局：他に意見がない場合は、意見をもとにアンケートの案を修正し、事前に委員に確認をしたうえで、配布をする予定である。

(4) その他

委員：懇談会を開催すると聞いたが、意見が出づらいうような雰囲気があるかと思う。市民の意見が反映される懇談会にしていっていただきたいと思う。意見が出しやすくするために、ファシリテーターを配置し、出た意見を集約することが必要だと思う。また、意見がどのように計画に反映されたかを示すと、「参加したい」という気持ちが起きるのではないか。

事務局：懇談会は、社会福祉協議会で行っているが、グループワークを行い、意見が出やすい雰囲気を作ろうと考えている。毎年、懇談会を行っているため、職員のスキルは上がっていると考えている。参加する人も、できるだけ発言をしてほしいと考えている。

委員：計画を立てると、その分の予算が付くと思うが、現場の意見では「人手が足りない」という現状がある。福祉の現場は、自分の価値観も得られないような状況である。何か、木津川市で働くことがメリットになるような施策や、現場に人材をとどめておくような施策がほしい。自身も、今後も現場で働く立場から意見を言いたいと思う。

	事務局：報酬を上げることについては要望を出している。声を挙げられるところには、挙げています。計画の中での反映はすぐには難しいかもしれませんが、ご意見はお伺いしたいと思います。
その他 特記事項	なし